KOIZUMI

製造発売元：コイズミファニテック株式会社

DRK−1TI−SUL

保存用

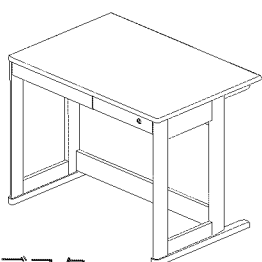
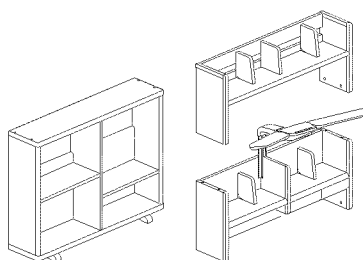
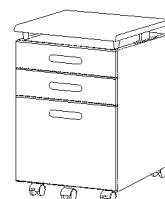
コイズミ学習机
取扱説明書（保証書付き）

このたびはコイズミ学習机をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、お子様の成長に合わせて組み替えができるステップアップデスクです。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

ステップアップデスクL

WDS-147NS
WDS-148BS
WDW-149NS
WDW-150BS
WDS-273NS
WDS-274BS

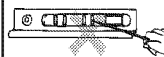
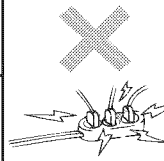
目　次

※組み立ての前に
- この商品は部品·部材点数が多いため、各ユニットごとの組み立てをしてください。
- 本製品の組み立てにあたり、［＋］ドライバーを用意ください。
- 組み立てる順番は①デスク、②ハイシェルフ、③ワゴンの順で組み立ててください。

①デスク　②ハイシェルフ　③ワゴン

この取扱説明書のマークについて　SAFETY INFORMATION

- この説明書には下記のマークを付けています。
  - ⚠ 拡大損害が予想される事項
  - 禁止行為　分解禁止　必ず行う
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- この説明書は保証書を兼用しています。大切に保管してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

1　安全上のご注意　ご使用の前によくお読みください。

⚠ 警告　死亡や重傷の原因となる。

表示	重要事項	危害・損害	
⊘	●電源コードを、無理に曲げたり、ねじったりしない。	火災や感電の原因になります。	
❗	●差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。	断線や破損の原因になります。	
⊘	●上棚には25kgを超えるものを置かない。	ケガや破損の原因になります。	合計25kg
⊘	●可動棚には12kgを超えるものを置かない。	ケガや破損の原因になります。	12kg 12kg
分解禁止	●コンセントボックスを分解しない。	火災や感電の原因になります。	
⊘	●電源コードを傷める行為(曲げる、引っ張る、束ねる、重いものを載せるなど)はしない。	コードが断線して、火災・感電の原因になる。	

⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。

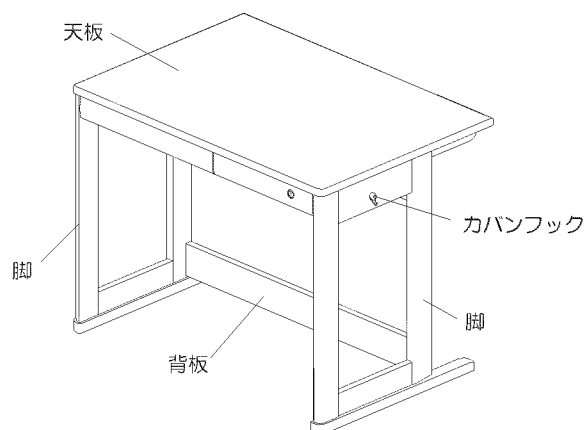
表示	重要事項	危害・損害	
⊘	●机などの上に立ったり、踏み台代りに使ったり、不安定な姿勢で座ったりしない。	ケガや器物損傷の原因になります。	
⊘	●引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶら下ったり、むりな力で引っ張ったりしない。	ケガや器物損傷の原因になります。	
⊘	●固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない。	ケガや器物損傷の原因になります。	
⊘	●家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない。	損傷の原因になります。	セロテープ
⊘	●天板以外にセロテープ等を貼らない。	器物損傷の原因になります。	表面
❗	●天板に傷がつかないようにマットや下敷を使ってください。	損傷の原因になります。	
分解禁止	●本製品を改造しない。	ケガや破損の原因になります。	
❗	●棚ダボは確実に取り付ける。	ケガや破損の原因になります。	

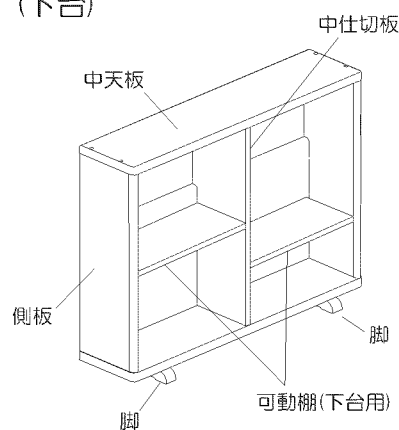
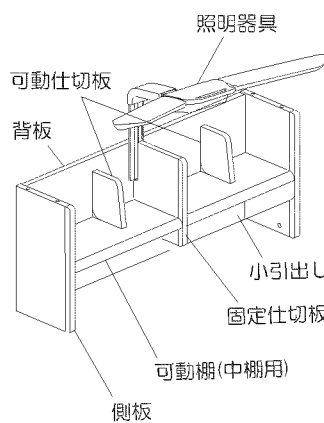
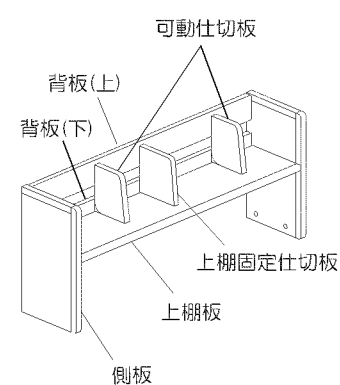
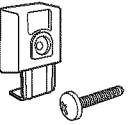
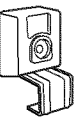
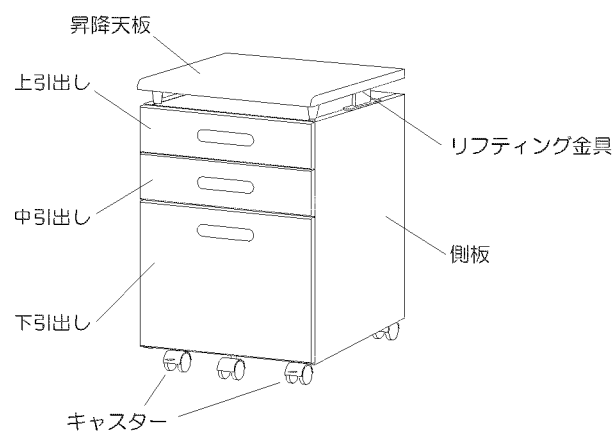
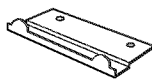
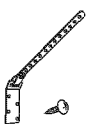
1　安全上のご注意　ご使用の前によくお読みください。

⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。

表示	重要事項	危害・損害
⊘	●点灯中や消灯直後のランプ及び、その周辺をさわらない。	ヤケドの原因になります。
⊘	●器具やランプに布、紙類をかぶせたり、近づけたりしない。	火災の原因になります。
⊘	●コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない。	火災、感電の原因になります。
⊘	●コンセントボックスのボルトを外した状態で使用しない。	損傷の原因になります。
⊘	●コンセントボックスを延長コードとして使用しない。	火災や損傷の原因になります。
❗	●コンセントボックスは確実に取付ける。	落下により、破損の原因になります。
⊘	●照明器具の可動範囲を超えて無理に回さない。	火災や感電の原因になります。
⊘	●子供の遊び道具にしない。	ケガや器物損傷の原因になります。

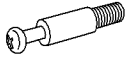
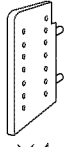
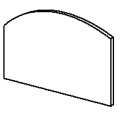
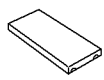
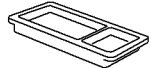
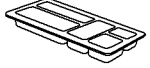
2　各部の名称　（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

①デスク本体

②ハイシェルフ

（下台）

（中棚）

（上棚）

③ワゴン

3 付属品

①デスク本体の付属部品

※（ ）書きの部品品番は、商品の色がBS色の場合となります。

ボルト(M6X35mm)	カバンフック	トラスボルト	ガッチリ金具A	ガッチリ金具B	カギ	穴埋めキャップ
GKU4BU635	SZC9KF07V (SZC9KF07R)	GKU4BW625	SZC1GK230	SZC1GK231	LTFTKD503	SZC9AC18V (SZC9AC18R)
×10	×1	×1	×1set	×1set	×1set	×2

ナット用キャップ	ボルト用キャップ(WD-デラックス用)		ボルト用キャップ(WD-スペシャル用)	
SZC9DC07V (SZC7DC06R)	SZC7BC60V (SZC9BC61R)	対象品番 WDS-147NS WDS-148BS WDW-149NS WDW-150BS	SZC7BC60V (SZC9BC61R)	対象品番 WDS-273NS WDS-274BS
×3	×2		×4	

②ハイシェルフの付属部品

※（ ）書きの部品品番は、商品の色がBS色の場合となります。

ボルト(M6X35mm)	連結ピン	回転金具	ユニット棚固定金具		ユニット連結金具	
GKU4BU635	SZC8MB605	SZC8MKN18	SZC1LK136	GKU1B212Z ボルト(M6X12mm)	SZC1LK963	GKU4BA616 ボルト(M6X15mm)
×4	×8	×12	×1	×2	×2	×6

樹脂棚ダボ	穴埋めキャップ	ナット用キャップ	ボルト用キャップ	転倒防止金具	コンセントボックス ※対象品番は上記	
SZCTTD09G	SZC9AC18V (SZC9AC18R)	SZC9DC07V (SZC7DC06R)	SZC7BC60V (SZC9BC61R)	SZC8TL002	KRE9SW10U (WD-デラックス用)	KRE9SW10L (WD-スペシャル用)
×8	×3	×10	×2	×1set	×1set	×1set

③ハイシェルフ棚板の付属部品 / ④ワゴンの付属部品

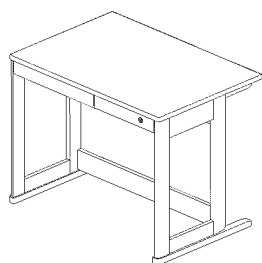
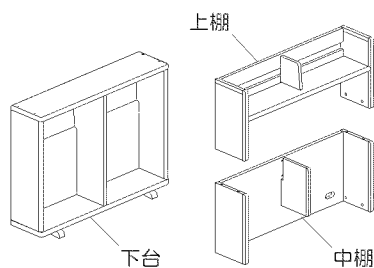
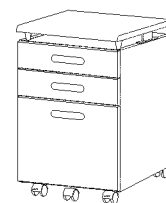
ボルト(M6X35mm)	連結ピン	回転金具（黒）	固定仕切板	上棚固定仕切板	キャスター(5個入)	仕切板（下引出し用）
GKU4BU635	SZC8MB605	LTFTMKN15			SZC9WC94G	
×3	×8	×8	×1	×1	×1セット	×2

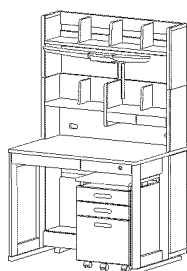
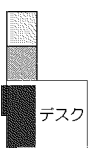
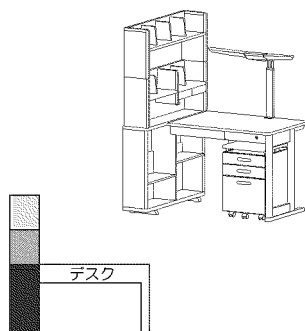
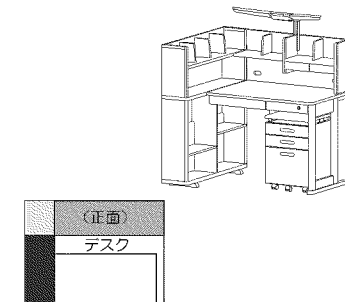
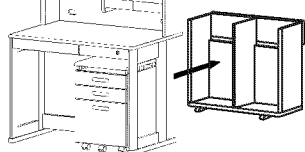
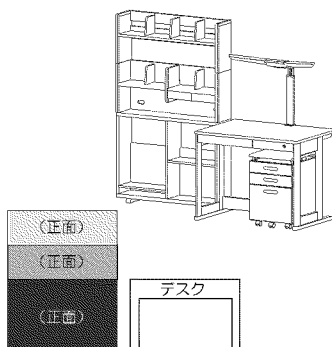
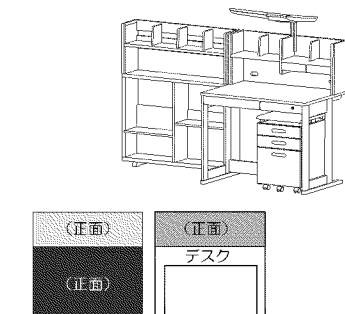
可動仕切板	可動棚(中棚用)	小引出し	可動棚(下台用)		ペントレー ※対象品番は上記	
					DRK1PE90R (WD-デラックス用) 木製製	RINTPE50G (WD-スペシャル用) 樹脂製
×4	×1	×1	×2		×1	×1

4　組立方法

＜組立の前に＞

●この商品は部品·部材点数が多いため、各ユニットごとの組み立てをしてください。

●組み立てる順番は①デスク、②ハイシェルフ、③ワゴンの順で組み立ててください。

＜組合せスタイル＞

●ハイシェルフは上棚・中棚・下台の３段階構造になっています。それぞれを下図のように組み合わせて使用ができます。

4　組立方法

＜組立前の準備＞

●本製品の組み立てにあたり、［＋］ドライバーを用意ください。
※ネジ穴を傷めるおそれがあるので、適切な大きさの道具で作業する。

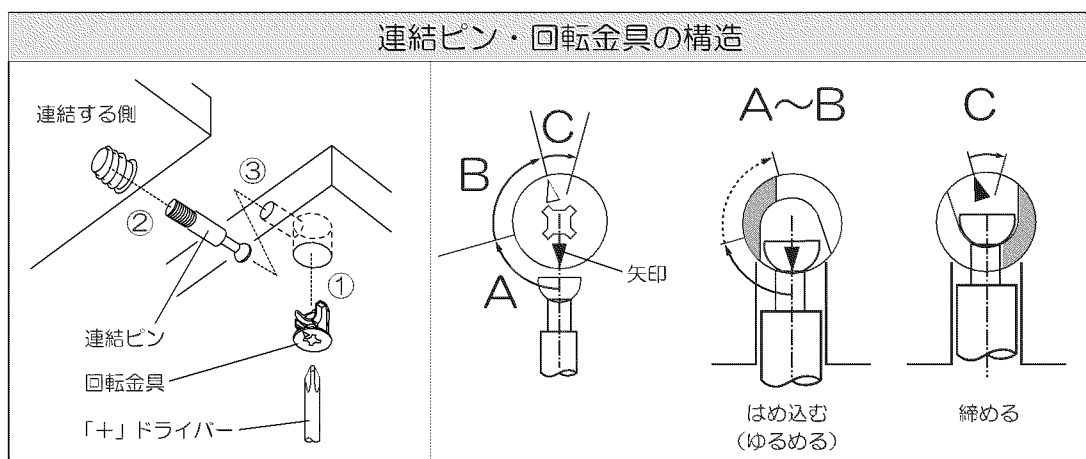
●設置する部屋の状況などに合わせて、使用するスタイルを決定してから、組立を始めてください。

	●組み立ては、必ず2人以上でおこなう。	ケガや器物損傷の原因になります。	
	●金具を取り付けるときは軍手などを着用する。	ケガの原因になります。	
	●組み立てや移動の際は、床に毛布などの保護材を敷いて作業する。	器物損傷の原因になります。	
	●他の部分にネジ穴をあけるなどの行為は、絶対にしない。	器物損傷の原因になります。	

＜連結ピン・回転金具の使い方＞

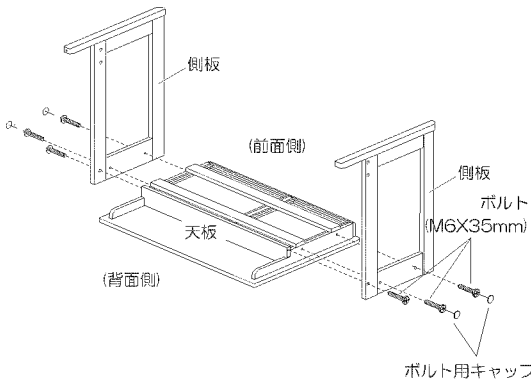
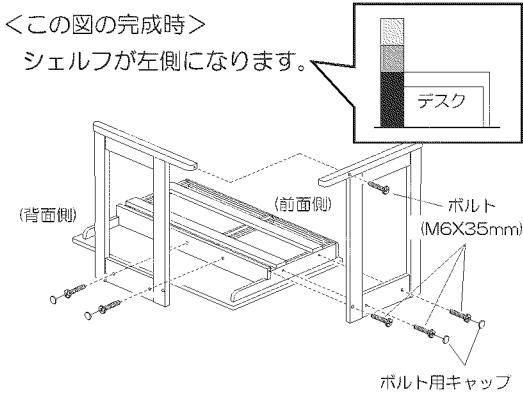
①回転金具をつける。※矢印の方向に注意

②連結する側のパーツに連結ピンをつける。

③連結するパーツをはめ込んでドライバーでまわし、しっかりと締め付ける。（下図C参照）

＜キャップについて＞

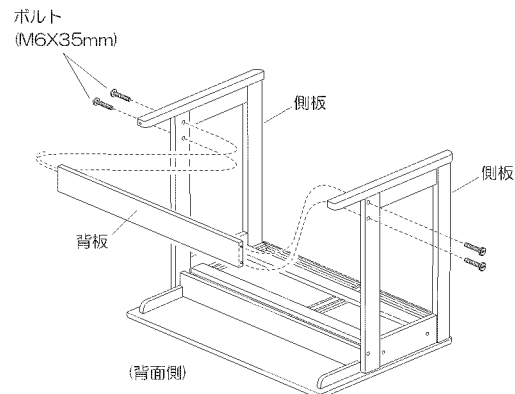
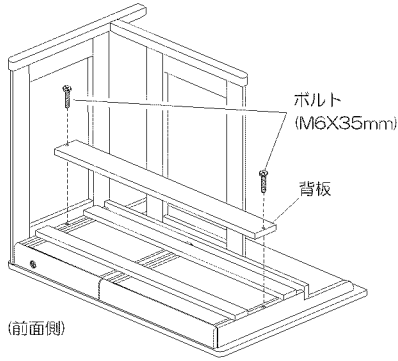
●安全や、いたずら防止のためにも、不要なボルト穴や、ネジの出っ張りには、キャップをかぶせておくことを推奨します。

●組立て方により、使用する個数が変わります。余ったキャップも、組替えのときなどに必要になる場合があるので、大切に保管しておいてください。

●その他、使用しなかった部品についても同様に、大切に保管しておいてください。

4　組立方法(デスクの準備)

(1)デスク天板に脚を取付ける

●ステップ1・3の場合は左右に、ステップ2の場合は左右どちらかと、背面側に取付け、脚のない側にシェルフを設置することになります。

※ひっくり返すとき引き出しに注意してください。

※キズなど防止のため、布などを敷いてください。

ステップ1・3

①デスク天板を下にして置いてください。

②側板を左右にボルト（M6X35mm）6本を用いて固定してください。

ステップ2

①デスク天板を下にして置いてください。

②脚を左右いずれかと背面にボルト（M6X35mm）6本を用いて固定してください。

<この図の完成時>
シェルフが左側になります。

(2)背板を取付ける

●ステップ1・3の場合は、背板として側板に取り付けてください。
ステップ2の場合は、天板裏にボルト（M6X35mm）で固定し収納してください。

ステップ1・3

③背板をボルト（M6X35mm）4本を用いて固定してください。

ステップ2

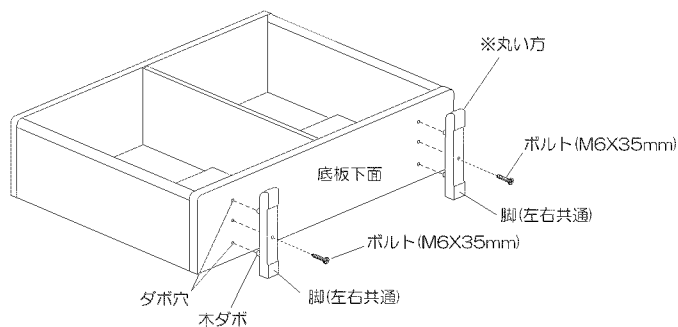
③背板を天板裏に、ボルト（M6X35mm）2本を用いて固定してください。

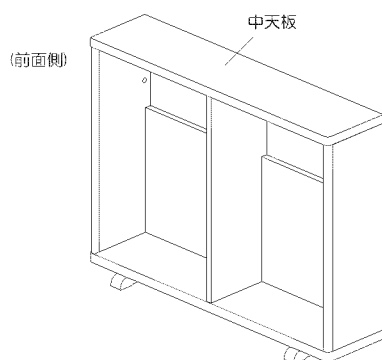
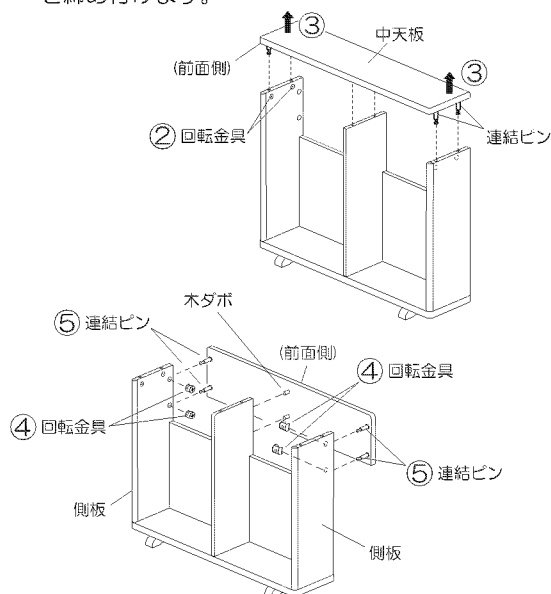
4　組立方法(シェルフの準備)

(1)脚を取付ける

●下台を横倒しにして、底板下面に脚を取り付けてください。

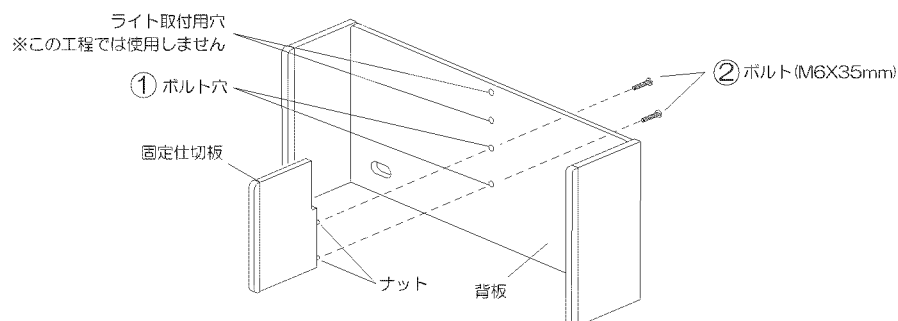
ステップ1・2・3共通

①シェルフ用の脚の木ダボを、下台の底板下面の穴に差し込んでください。
　脚は前後方向がありますので、図のように丸い方が前になるよう取り付けてください。
②脚をボルト（M6X35mm）で固定してください。

(2)起こす

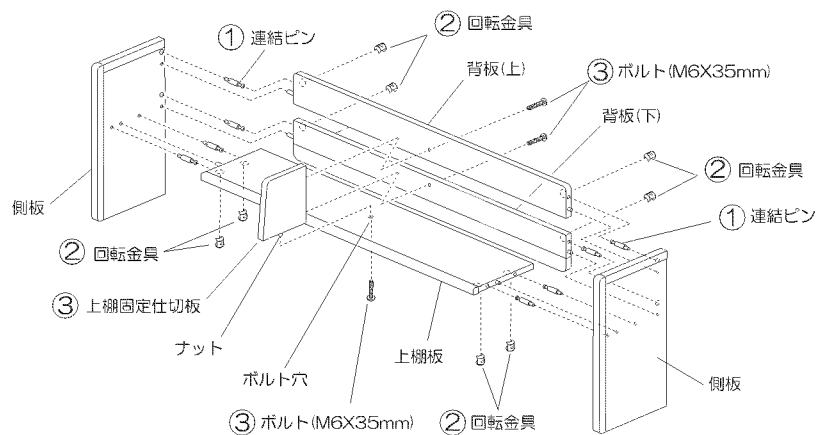
●ステップ1の場合は、中天板をいったんはずして、後部に取付けなおしてください。

ステップ1・2・3共通	ステップ1
①起こしてください。	②回転金具を緩めてください。 　※回転金具の使用方法は7ページを参照 ③中天板を垂直に持ち上げます。 ④側板内側に、回転金具4個を取付けてください。 ⑤中天板を後ろに持ってきて、内側から回転金具 　を締め付けます。

4　組立方法(シェルフの準備)

(3)中棚の組立

ステップ1・2・3共通

①背板のボルト穴にナットを合わせてはめ込んでください。
②固定仕切板を背面からボルト(M6×35mm)2本を用いて固定してください。

(4)上棚の組立

ステップ1・2・3共通

①下図を参照し、左右側板に連結ピンを、背板(上)・背板(下)・上棚板に回転金具をそれぞれ取付けてください。
②背板(上)・背板(下)・上棚板を組み合わせて、回転金具を締め付けます。
③最後に上棚固定仕切板を取付けます。ナットを上棚板のボルト穴に合わせ、ボルト(M6×35mm)1本で固定し、背面から同じボルト2本を用いて固定してください。

(5)それぞれのスタイルの組立方法 (P6を参照願います。)

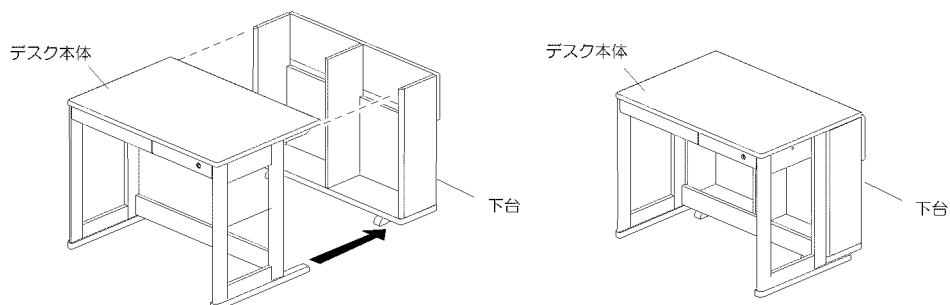
●ステップ1(スタンダードスタイル)場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・11ページへ
●ステップ2(ユニットデスクスタイル・L型カウンタースタイル)の場合・・・13ページへ
●ステップ3(セパレートスタイル・セパレートロースタイル)の場合 ・・・・17ページへ

※可動棚・仕切板などは、設置が終わってからセットしてください。

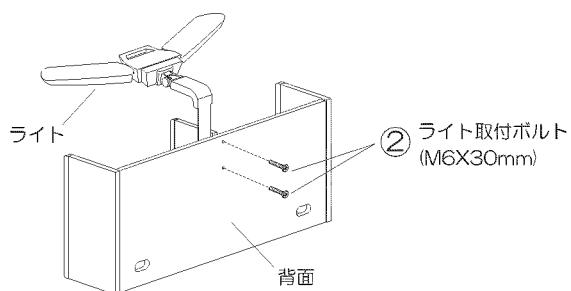
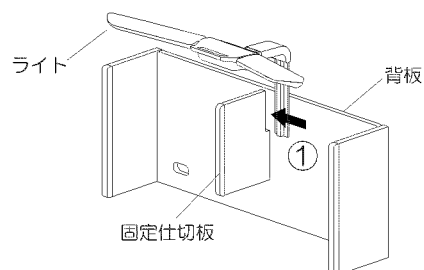
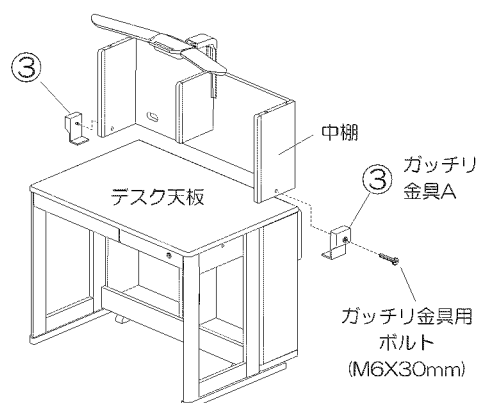
4　組立方法(ステップ1)

スタンダードスタイル

(1)下台の設置

①下台を設置場所付近に置いてください。（左右に作業スペースが必要です。）
②下台にデスクをかぶせるように設置してください。

(2)中棚の組立

●照明器具の取付けについて
※取扱方法は照明器具に付属の取扱説明書をご覧ください。
※コードははさみこみなどがないように、束ねておいてください。

①固定仕切板と背板の隙間に差し込んでください。
②背面からライト取付ボルト(M6×30mm)2本を用いて固定してください。

③中棚をデスク天板にのせ、ガッチリ金具Aを用いて固定してください。
※デスクの巾に対して中棚の巾がほぼ同じ寸法なので落下に注意してください。
※作業中はコードや照明を傷つけないように注意してください。

4　組立方法(ステップ1)

スタンダードスタイル

(3)上棚の組立

●中棚と上棚を連結します。

①中棚側板上面のナットに連結ピン4個を取付け、
　上棚側板内面に回転金具4個を取付けてください。

②中棚に上棚をのせ、回転金具を締め付けてください。

	正しく組み立てられているか、がたつきなどがないかを確認してください。

(4)コンセントボックスの取付け

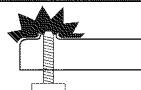
●コンセントボックスの取付けについては、23ページをご覧ください。

①照明器具の差込みプラグを後方の「ライト専用コンセント」に差し込んでください。

②コンセントボックスの差し込みプラグを、家庭用100Vコンセントに差し込んでください。

(5)棚板、仕切板、カバンフックなどの取付け

●取付方法については、20~21ページをご覧ください。

⊘	●可動仕切板を取付ける際、可動棚の上に物を載せない。	ケガや破損の原因になります。	
⊘	●可動棚には12kgを超えるものを置かない。	ケガや破損の原因になります。	12kg 12kg

4　組立方法(ステップ2)

スタイルA

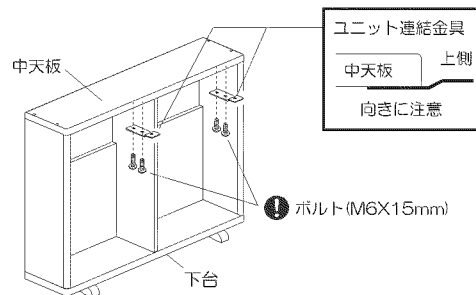
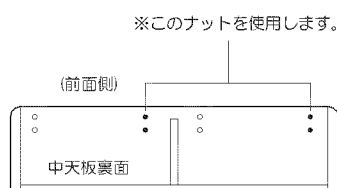
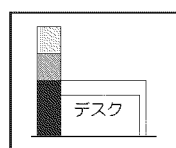
ユニットデスクスタイル

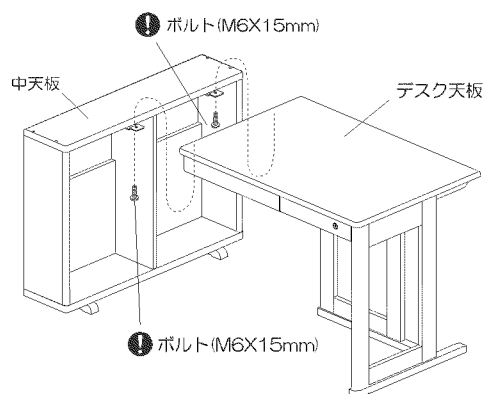
(1)下台とデスクの連結

●ユニット連結金具を使用します。位置と向きにご注意ください。

	●使用するボルトの長さには十分注意する。	破損の原因になります。	

①下台の中天板裏面に、ユニット連結金具２個をボルト(M6×15mm)４本を用いて取付けてください。
（金具１個につきボルト２本使用）

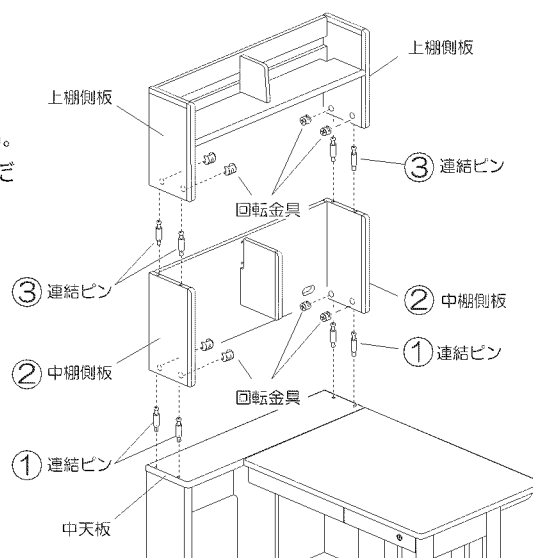
<この図の完成時>
シェルフが左側になります。

②デスクを組合せ、金具の穴とデスク天板裏面のナットの位置を合わせてください。

③デスク天板の裏面に、ボルト(M6×15mm)２本を用いて固定してください。

(2)上棚と中棚の連結

●下台に上棚と中棚を連結します。

①中天板上面のナットに連結ピン４個を取付け、中棚側板内面に回転金具４個を取付けてください。

②中天板に中棚をのせ、回転金具を締め付けてください。

③同様に上棚を連結してください。

4　組立方法(ステップ2)　スタイルA

ユニットデスクスタイル

	正しく組み立てられているか、がたつきなどがないかを確認してください。

(3)照明器具の取付け

●デスク天板に照明器具を取付けてください。

●照明器具の取付け方法は、照明器具に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

(4)コンセントボックスの取付け

●コンセントボックスの取付けについては、23ページをご覧ください。

①照明器具の差込みプラグを後方の「ライト専用コンセント」に差し込んでください。

②コンセントボックスの差し込みプラグを、家庭用100Vコンセントに差し込んでください。

(5)棚板、仕切板、カバンフックなどの取付け

●取付方法については、20~21ページをご覧ください。

	●可動仕切板を取付ける際、可動棚の上に物を載せない。	ケガや破損の原因になります。	
	●可動棚には12kgを超えるものを置かない。	ケガや破損の原因になります。	

4　組立方法(ステップ2)

スタイルB

ユニットデスクスタイル（L型カウンタースタイル）

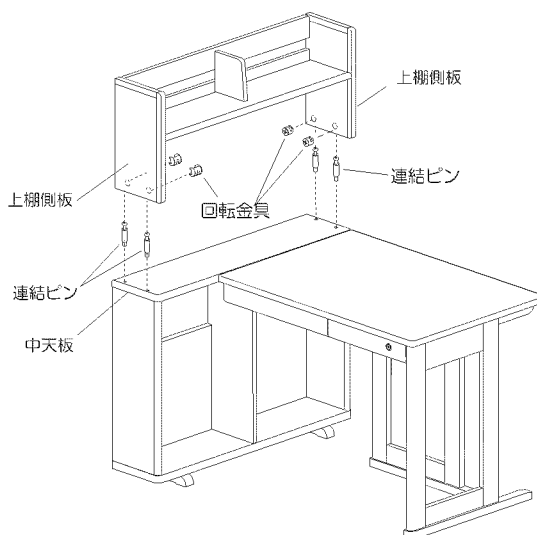
(1)下台とデスクの連結

●13ページ(1)をご覧ください。

	●使用するボルトの長さには十分注意する。	破損の原因になります。	

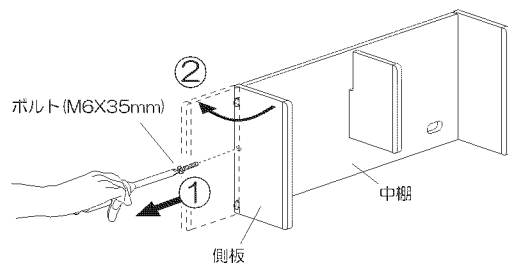
(2)下台と上棚の連結

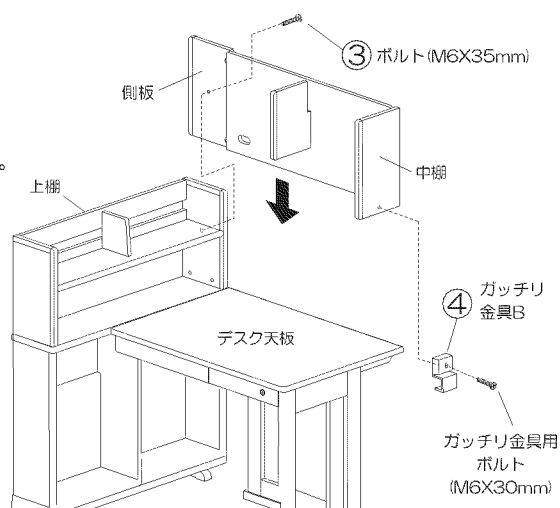
①中天板上面のナットに連結ピン4個を取付け、上棚側板内面に回転金具4個を取付けてください。

②中天板に上棚をのせ、回転金具を締め付けてください。

(3)デスク天板と中棚の固定

①連結する側の中棚側板のボルトを取り外してください。

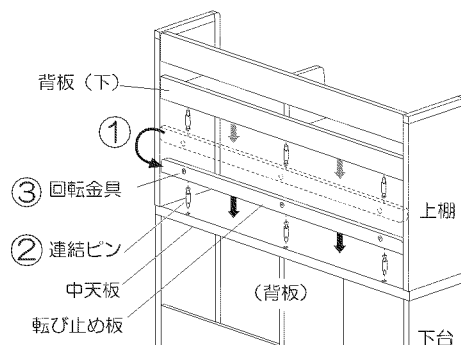
②側板を開きます。

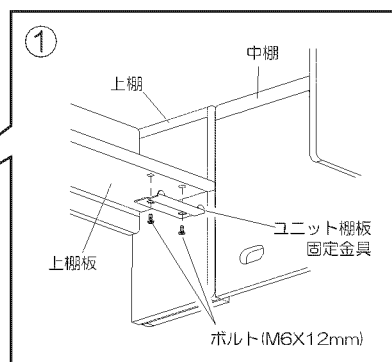
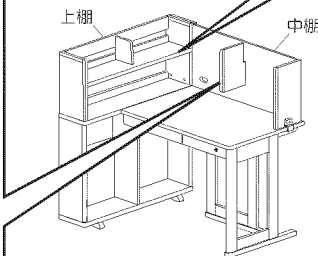
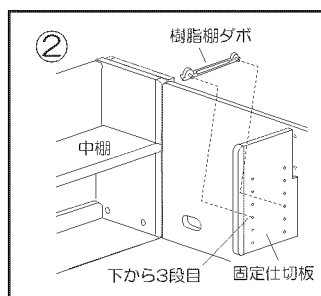
(! 指詰め注意。)

③デスク天板の上に仮置きし、上棚と②で開いた中棚側板を①で取り外したボルトを用いて、背面から固定してください。

④反対側は、ガッチリ金具Bを用いて固定してください。

4　組立方法(ステップ2)　スタイルB

ユニットデスクスタイル（L型カウンタースタイル）

(4)転び止めの取付け

●上棚背板(下)に収納されている転び止め板を、下台中天板に付け替えます。
①回転金具をゆるめ、転び止めを外してください。
②背板(下)に残っている連結ピンを外し、中天板に付け替えてください。
③転び止めを逆さまにして付け替え、回転金具を締め付けて、固定してください。

(5)ユニット棚固定金具の取付け

●棚板取付けの準備をします。
①上棚板の裏面から、ユニット棚固定金具をボルト(M6×12mm) 2本を用いて、固定してください。
②固定仕切板側のダボ穴、下から3段目の位置に、樹脂棚ダボ1個を取付けてください。

(6)照明器具の取付け

●照明器具の取付けについては、11ページ(2)の①②をご覧ください。

	正しく組み立てられているか、がたつきなどがないかを確認してください。

(7)コンセントボックスの取付け

●コンセントボックスの取付けについては、23ページをご覧ください。
①照明器具の差込みプラグを後方の「ライト専用コンセント」に差し込んでください。
②コンセントボックスの差し込みプラグを、家庭用100Vコンセントに差し込んでください。

(8)棚板、仕切板、カバンフックなどの取付け

●取付方法については、20～21ページをご覧ください。

⃠	●可動仕切板を取付ける際、可動棚の上に物を載せない。	ケガや破損の原因になります。	
⃠	●可動棚には12kgを超えるものを置かない。	ケガや破損の原因になります。	12kg 12kg

4　組立方法(ステップ3)

スタイルA

セパレートスタイル

(1)デスクと下台の設置

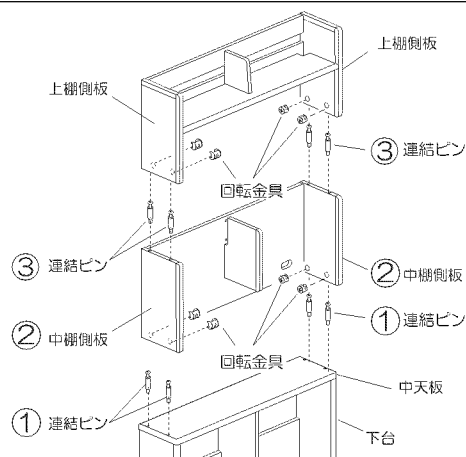
●下台を設置場所付近に置いてください。

(2)シェルフの組立

●下台に上棚と中棚を連結します。

①中天板上面のナットに連結ピン4個を取付け、
中棚側板内面に回転金具4個を取付けてください。

②中天板に中棚をのせ、回転金具を締め付けてください。

③同様に上棚を連結してください。

正しく組み立てられているか、がたつきなどがないかを確認してください。

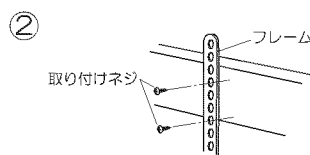
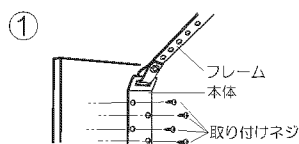
(3)転倒防止金具の取付け

●上棚・中棚を連結してご使用になる際は、転倒防止金具を使用してください。

①転倒防止金具を上部に取り付けネジ4本にて取付けてください。
※取付けは18mm以上の厚みで硬い木部を選んでください。

②壁や柱など(木部)に付属の取り付けネジ2本を、フレームの穴をあわせて留めてください。
※このとき、フレームの長さを任意の位置に合わせてください。

①

②

No.	部品名	数
1	転倒防止金具	1個
2	取り付けネジ	6本

(4)照明器具の取付け

●デスク天板に照明器具を取付けてください。

●照明器具の取付け方法は、照明器具に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

(5)コンセントボックスの取付け

●コンセントボックスの取付けについては、23ページをご覧ください。

①照明器具の差込みプラグを後方の「ライト専用コンセント」に差し込んでください。

②コンセントボックスの差し込みプラグを、家庭用100Vコンセントに差し込んでください。

(6)棚板、仕切板、カバンフックなどの取付け

●取付方法については、20～21ページをご覧ください。

⃠	●可動仕切板を取付ける際、可動棚の上に物を載せない。	ケガや破損の原因になります。	
⃠	●可動棚には12kgを超えるものを置かない。	ケガや破損の原因になります。	12kg 12kg

セパレートスタイル（ロースタイル）

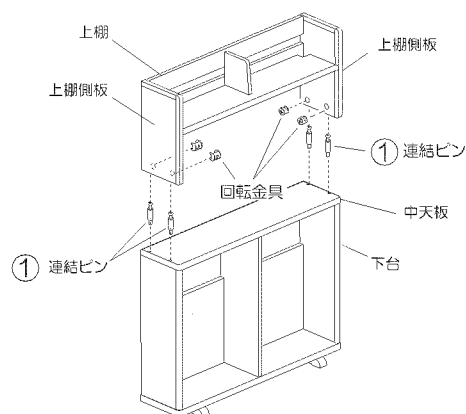
(1)デスクと下台の設置

●下台を設置場所付近に置いてください。

(2)シェルフの組立

●下台に上棚を連結します。

①中天板上面のナットに連結ピン４個を取付け、
上棚側板内面に回転金具４個を取付けてください。

②中天板に上棚をのせ、回転金具を締め付けてください。

(3)転び止めの取付け

●16ページ（4）をご覧ください。

(4)中棚の取付け

①照明器具を取付けてください。

※取付けについては、11ページ(2)の①②をご覧ください。

②中棚をデスク天板にのせ、ガッチリ金具Aを用いて固定してください。

※デスクの巾に対して中棚の巾がほぼ同じ寸法なので落下に注意してください。

※作業中はコードや照明を傷つけないように注意してください。

	正しく組み立てられているか、がたつきなどがないかを確認してください。

(4)コンセントボックスの取付け

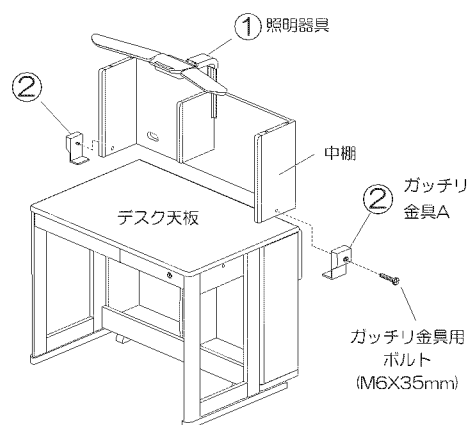
●コンセントボックスの取付けについては、23ページをご覧ください。

①照明器具の差込みプラグを後方の「ライト専用コンセント」に差し込んでください。

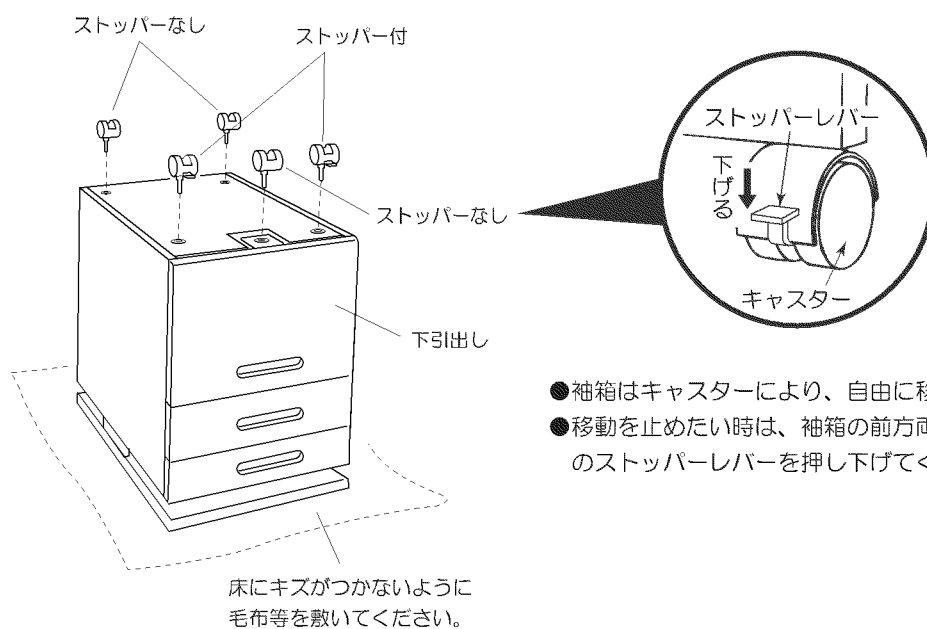
②コンセントボックスの差し込みプラグを、家庭用100Vコンセントに差し込んでください。

(5)棚板、仕切板、カバンフックなどの取付け

●取付方法については、20～21ページをご覧ください。

⃠	●可動仕切板を取付ける際、可動棚の上に物を載せない。	ケガや破損の原因になります。	
⃠	●可動棚には12kgを超えるものを置かない。	ケガや破損の原因になります。	12kg 12kg

4　組立方法(ワゴン)

(1)キャスターを取付ける

●天板を下にして置き、キャスターを取付ける。
　※ひっくり返すとき引き出しに注意してください。
　※キズなど防止のため、布などを敷いてください。
①地板の裏にキャスター4個をしっかり差し込んでください。
②下引出しの下のキャスター取付穴にキャスター（ストッパーなし）1個をしっかり差し込んでください。

●袖箱はキャスターにより、自由に移動できます。
●移動を止めたい時は、袖箱の前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

4 組立方法(キャップ類の取付け)

<キャップ類を取付ける>

●組合せスタイルにより、キャップの取り付け箇所が異なります。
ご使用のスタイルに合わせ、キャップ類を取付けてください。

付属のキャップ類

WD- デラックス用

①穴埋めキャップ	②ナット用キャップ	③ボルト用キャップ
SZC9AC18V (SZC9AC18R)	SZC9DC07V (SZC7DC06R)	SZC7BC60V (SZC9BC61R)
×5	×13	×4

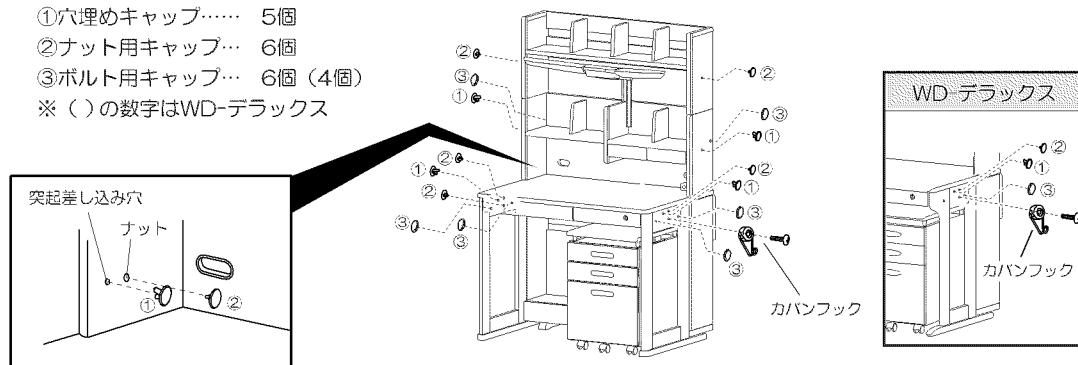
●対象品番
WDS-147NS / WDS-148BS
WDW-149NS / WDW-150BS

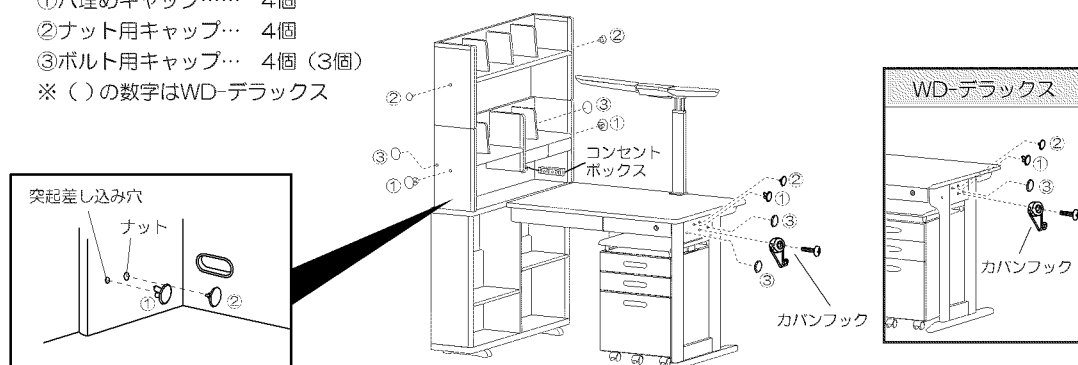
WD- スペシャル用

①穴埋めキャップ	②ナット用キャップ	③ボルト用キャップ
SZC9AC18V (SZC9AC18R)	SZC9DC07V (SZC7DC06R)	SZC7BC60V (SZC9BC61R)
×5	×13	×6

●対象品番
WDS-273NS / WDS-274BS

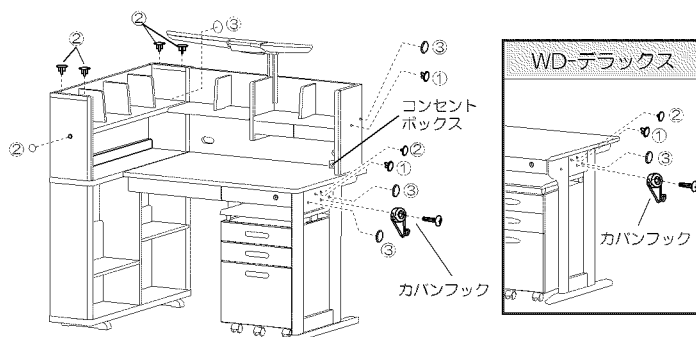
スタンダードスタイル ※イラストはWD- スペシャルとなります

●取付けに使用するキャップ類の数量
①穴埋めキャップ…… 5個
②ナット用キャップ… 6個
③ボルト用キャップ… 6個（4個）
※（ ）の数字はWD-デラックス

ユニットデスクスタイル スタイルA

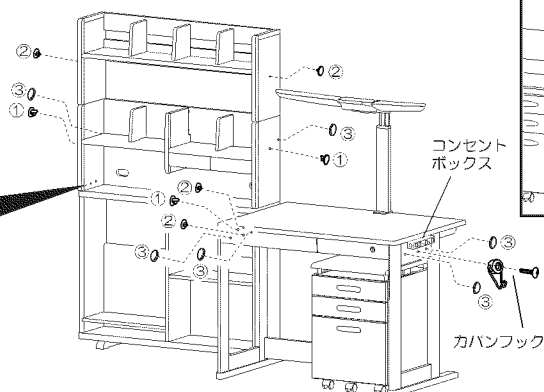
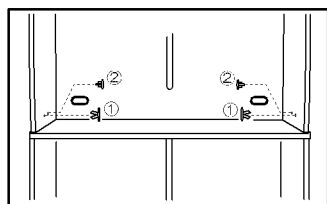
●取付けに使用するキャップ類の数量
①穴埋めキャップ…… 4個
②ナット用キャップ… 4個
③ボルト用キャップ… 4個（3個）
※（ ）の数字はWD-デラックス

4　組立方法(キャップ類の取付け)

ユニットデスクスタイル（L 型カウンタースタイル）　スタイルB

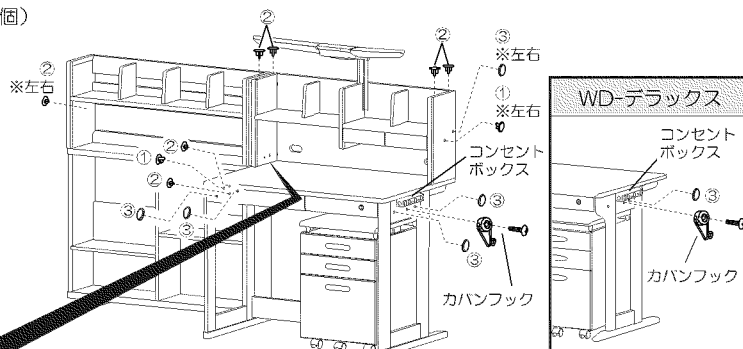
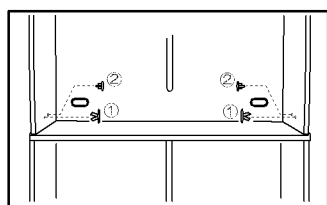
●取付けに使用するキャップ類の数量

①穴埋めキャップ……　2個
②ナット用キャップ…　6個
③ボルト用キャップ…　3個（2個）
※（ ）の数字はWD-デラックス

セパレートスタイル　スタイルA

●取付けに使用するキャップ類の数量

①穴埋めキャップ……　5個
②ナット用キャップ…　6個
③ボルト用キャップ…　6個（4個）
※（ ）の数字はWD-デラックス

セパレートスタイル（ロースタイル）　スタイルB

●取付けに使用するキャップ類の数量

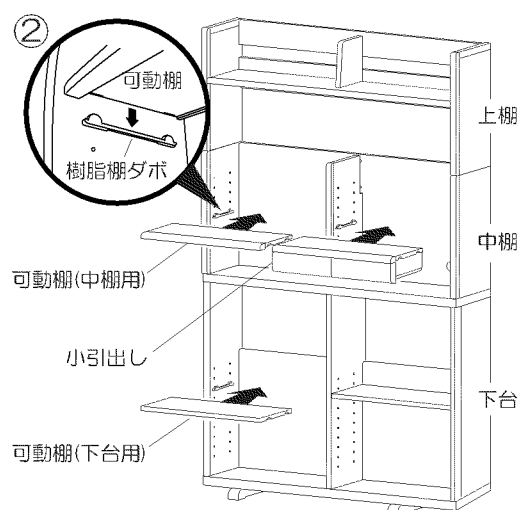
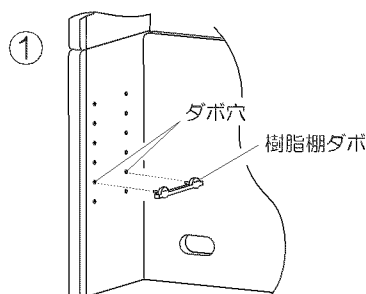
①穴埋めキャップ……　5個
②ナット用キャップ…　10個
③ボルト用キャップ…　6個（4個）
※（ ）の数字はWD-デラックス

5 使用方法

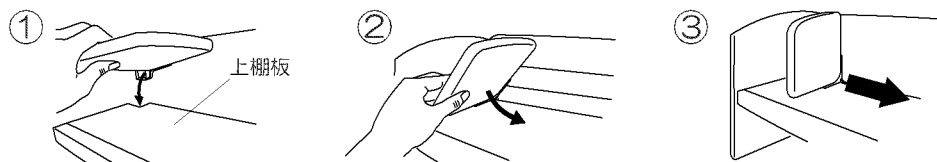
<ハイシェルフについて>

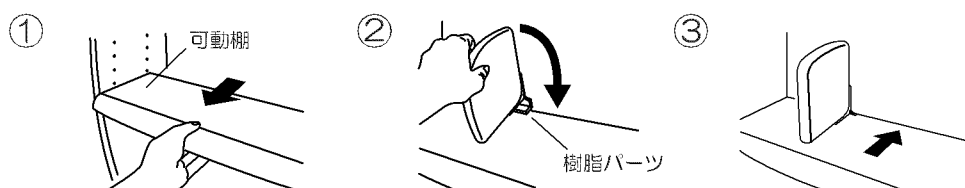
●適切な位置に、必要に応じて照明、コンセントが設置されているか確認し、デスク、シェルフをお好みの位置に設置してください。設置時に床に対するガタつきなどをチェックしてください。
可動式の部品は、設置が終わってから取付けてください。

⃠	**●可動仕切板を取付ける際、可動棚の上に物を載せない。**	**ケガや破損の原因になります。**	
⃠	**●可動棚には12kgを超えるものを置かない。**	**ケガや破損の原因になります。**	12kg 12kg

<可動棚の取付け方>

●可動棚（中棚用・下台用）及び、小引出しの取付け方法は共通です。
①お好みの高さに、樹脂棚ダボをダボ穴に取付けます。
②それぞれの場所に可動棚を設置してください。

<上棚への可動仕切板の取付け方>

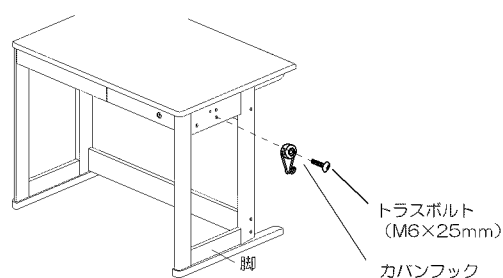
①上棚板の後角のかきとり部分に樹脂パーツを寝かせた状態で差し込んでください。
②差し込んだ状態で本立てを垂直におこして上棚板にはめ込んでください。
③横にスライドさせて使用してください。

<中棚への可動仕切板の取付け方>

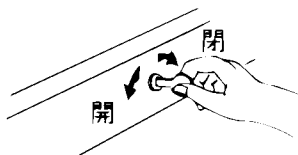
①可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。
②可動棚の後方に樹脂パーツをはめ込んでください。
③樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから、可動棚をもとの位置に戻してください。

5　使用方法

<デスクについて>

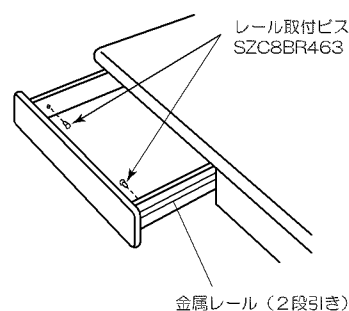
⊘	●カバンフックには10kgを超えるものを掛けない。	破損の原因になります。
❗	●カギは最後まで差し込んでから操作する。	ケガや錠前の破損の原因になります。
❗	●カギを回し過ぎない。	ケガや錠前の破損の原因になります。

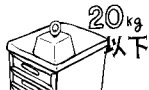
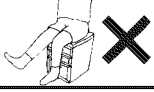
<カバンフックの取付け方>

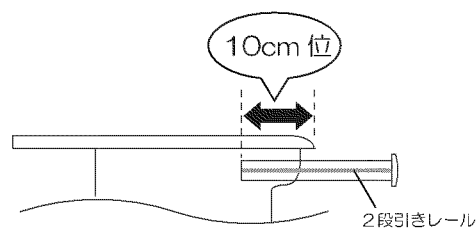
①脚の左右いずれかに、カバンフックをトラスボルト(M6×25mm)1本を用いて取り付けてください。

<カギの使用方法>

●閉めるとき
カギを差し込んで、右180°回す。
●開けるとき
カギを差し込んで、左180°回す。

<引出しの使用方法>

（デスク本体・ワゴン上・中引出し）

●引出しのはずし方
引出しは、内面のレール取付けビス（左右）2本をはずすと抜き取れます。

<引出し内の耐荷重>
デスク本体引出し…6kg
ワゴン上引出し　……5kg
ワゴン中引出し　……5kg

<引出しがかたくなったときは>

●金属レールの構造特性上、引き出しを最後まで引き出さず開閉をくりかえし使い続けた場合、引き出しがかたくなることがございますが、故障ではありません。
数回に分けてすこし強く引き、最後まで引き出してください。

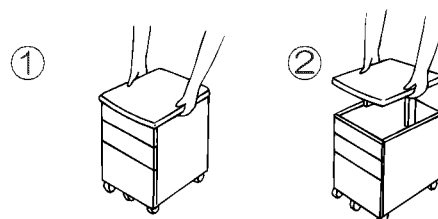
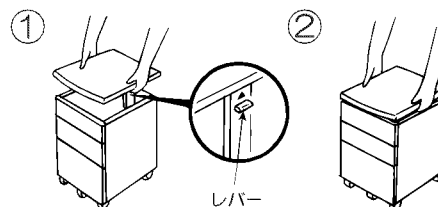
●これでも改善されない場合は、レールの破損も考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

※引出しを出しきった状態

5 使用方法

<ワゴンについて>

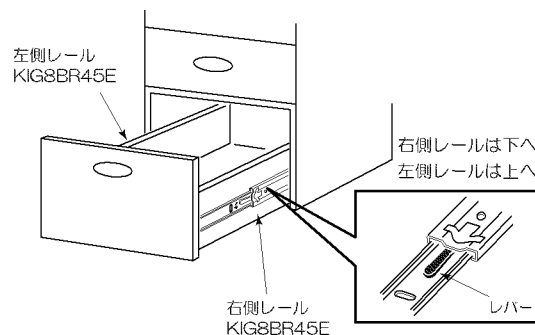
⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。		
表示	重要事項	危害・損害
⊘	●昇降天板には20kgを超えるものを載せない。	ケガや破損の原因になります。 20kg以下
⊘	●天板や引出しの上に乗らない。	ケガや破損の原因になります。
⊘	●激しく動かしたり、押して遊んだりしない。	ケガや破損の原因になります。
⊘	●昇降天板は水平を保つようにして固定する。	ケガや器物損傷の原因になります。
⊘	●昇降天板の可動操作は、両手でゆっくり確実に行なう。	ケガや破損の原因になります。
⊘	●昇降天板面にものをのせた状態で、天板可動操作はしない。	ケガや破損の原因になります。

<昇降天板の操作方法>

●天板をあげるとき
①両手で天板の左右を持つ。
②ゆっくりと持ち上げる。（11段階調節）

●天板を下げるとき
①両手で天板の左右のレバーを上に引き上げる。
②レバーを引き上げたままゆっくりとおろす。

<引出しの使用方法>

●引出しのはずし方（上引出し・中引出し）
※前ページをご参照ください。

●引出しのはずし方（下引出し）
レバーを下へ（左側は上へ）押しながら引出しを抜くとはずれます。

<引出し内の耐荷重>
ワゴン下引出し………20kg

5　使用方法

<コンセントボックスについて>

●コンセントボックスはシェルフまたはデスク本体への取付けが可能です。

⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。		
表示	重要事項	危害・損害
❗	●コンセントボックスは確実に取付ける。	落下により、破損の原因になります。
🛇	●電源コードを付替えるときは必ず差し込みプラグをコンセントから抜く。	感電や器物損傷の原因になります。

<シェルフへの取付け方>

①中棚の側板の右内側、または左内側にある「突起差し込み穴」にコンセント裏側の突起部を差し込んでください。

②コンセント中央にあるナットに、ボルト（M6X35mm）１本を差し込み、「＋」ドライバーを用いてしっかり固定してください。

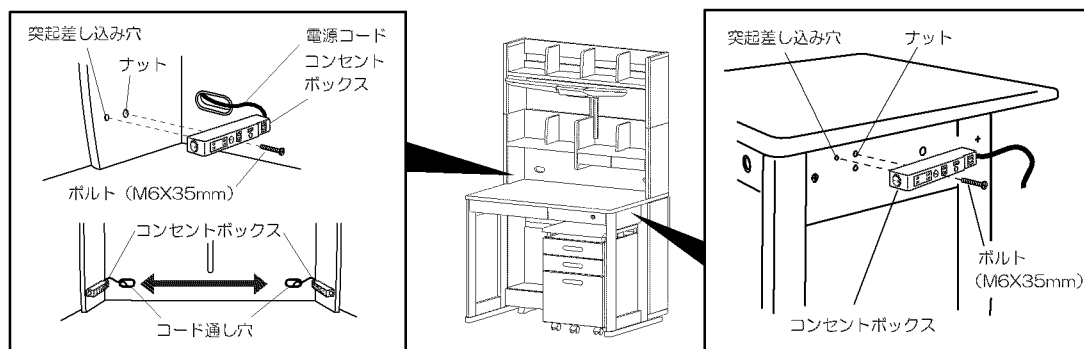
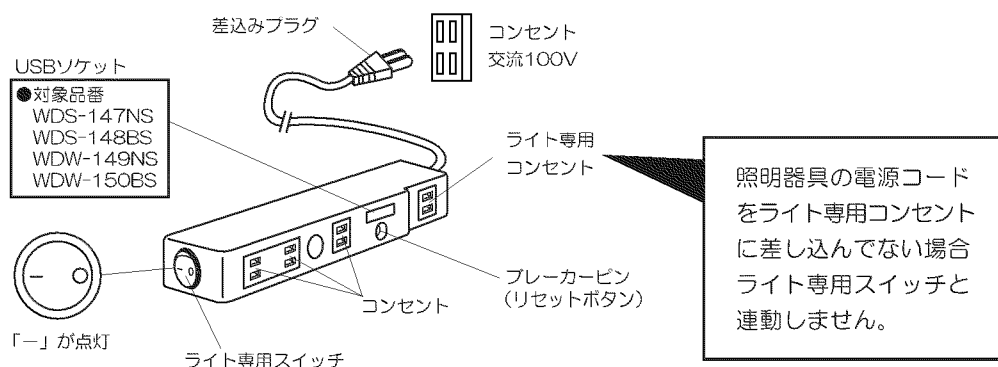
③電源コードは上棚の背板のコード通し穴を通して室内の壁コンセントに接続してください。

<デスクへの取付け方>

①本体の側板の右外側、または左外側にある「突起差し込み穴」にコンセント裏側の突起部を差し込んでください。

②コンセント中央にあるナットに、ボルト（M6X35mm）１本を差し込み、「＋」ドライバーを用いてしっかり固定してください。

<各部の名称>

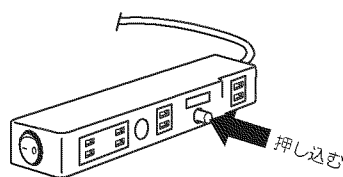
照明器具の電源コードをライト専用コンセントに差し込んでない場合ライト専用スイッチと連動しません。

5 使用方法

<コンセントのワット数について>

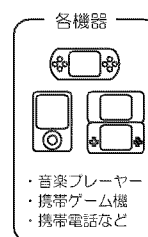
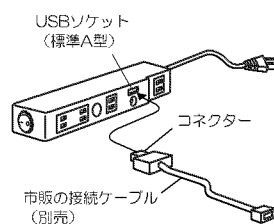
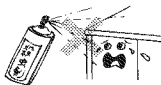
●コンセントは4口（ライト専用コンセント含む）で、合計1300ワット(W)までの家電製品が使用できます。

⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。		
表示	重要事項	危害・損害
⊘	●使用する家電製品の規格消費電力のワット数の合計が1300W(ワット)を超えた状態で使用しない。	火災・発煙・過熱の原因になります。
⊘	●ライト専用コンセントは、付属のライト以外には使用しない。	火災・発煙・過熱の原因になります。

<ブレーカーがはたらいたとき>

●ブレーカーピンが外に飛び出します。
①コンセントボックスのすべてのコンセントから電源コードを抜いてください。
②ブレーカーピンを押し込んでください。

⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。		
表示	重要事項	危害・損害
❗	●ブレーカーがはたらく原因（使用する家電製品の規格消費電力のワット数の合計が1300W(ワット)を超える場合、その他過電流が流れる場合）を取り除いてから使用する。	火災・発煙・過熱の原因になります。

<USBソケットの使用方法>

<対象品番>・WDS-147NS／148BS・WDW-149NS／150BS
①各機器の充電端子に接続ケーブルのコネクターを差し込む。
②接続ケーブルのもう一方をコンセントボックスのUSBソケットに差し込む。

⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。		
表示	重要事項	危害・損害
❗	●USBソケットの差し込み口にゴミやホコリ金属等の異物が入らないようにする。	感電・焼損・故障の原因になる。
⊘	●コンセントボックスのUSB電源ソケットにUSB充電が可能な機器以外を接続しない。	感電・焼損・故障の原因になる。
⊘	●DC5V、500mAに適合した機器以外を使用しない。	感電・焼損・故障の原因になる。

6　お手入れ方法

●かたく絞った布等で汚れをふき取ります。
●ひどい汚れは薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ります。

⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。			
表示	重要事項	危害・損害	
⃠	●シンナー・ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない。	器物損傷の原因になります。	

よくある質問

Q：カギやフックをなくしました。どうしたらよいですか？
A：お買い上げの販売店にご相談ください。
Q：机やベッドなどがガタつきます。
A：ボルトが緩んでませんか？緩んでいる場合は、再度ボルトを締めなおしてからご使用ください。
●その他、ご使用に際して異常と思われる場合は、ご使用を中止して、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談室へお問い合わせいただき、安全確認いただいた後、ご使用を再開してください。

7　点検と修理が必要なとき

1　より安全にご使用いただくために次のような異常があったときは電器店にご相談ください。
- コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
- 器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

2　部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。
- ランプの交換

⃠器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
➡火災・感電の原因になります。

3　取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。

無断転用を禁ず
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

8　お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成23年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

9　コイズミ学習机保証書

<table>
<tr><td>品番</td><td colspan="2">（デスク引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td colspan="2">お名前</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所　〒

電話番号（　　　）　　―</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買い上げ日</td><td rowspan="4">販売店名･住所･電話番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間（お買い上げ日より）</td></tr>
<tr><td colspan="2">3ヶ年</td></tr>
</table>

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号